

こんにちは、教育長の小田嶋です。

新型コロナウイルスの感染は、日々拡大している状況にあり、大変厳しい状況の中、新学期を迎えることとなってしまいました。市立学校では、3月4日から臨時休業を実施し、既に2か月がたとうとしています。現時点で終息が見えない中で、子ども達の心身にストレスがたまり、保護者の皆様も不安な気持ちでお過ごしのことと思いますが、教育委員会・学校において必要な対策をしっかりと講じてまいります。まず、学校における臨時期間中における対応については、大きく3つの取組を実施しています。

一つ目は、不安等を抱える児童生徒への支援です。具体的には、個別相談日や電話相談窓口を設けるなど、児童生徒と対話できる機会を設定し、様々な不安解消に努めています。

二つ目は、共働き家庭など児童が留守番をすることが難しい場合に、学校に「居場所」を設け、来校する児童生徒の見守りを通した必要な支援を行っています。

三つ目は、教職員の在宅勤務を可能とし、感染防止策の強化を図っています。

次に、特に重要なのが、臨時休業期間中の学習です。児童生徒が自宅にいる状況であっても、規則正しい生活習慣を身につけ、学習を継続することが大切です。各学校では、家庭での学習計画を作成し、教科書と関連づけたICT教材や動画を活用した、家庭でできる取組を示しています。

具体的には、家庭での学習に役立ててもらおうよう市立学校の児童生徒が使用できる学習コンテンツである「川崎市学びのひろば」を川崎市総合教育センターのホームページにアップしており、また、文部科学省の「子供の学び応援サイト」やNHKやTVKの学習番組などを紹介しています。

今後も、先が見えない状況にありますが、経済的・社会的状況にかかわらず、御家庭の協力をいただきながら、取組をしっかりと進めてまいります。